

第3回 枕崎市地域公共交通活性化協議会

〔地域公共交通計画（案）：基本方針～施策展開イメージ〕

1. 課題解決に向けた公共交通の基本方針	1
(1) 公共交通に求められる役割（概要）	1
(2) 地域公共交通の課題	1
(3) 課題解決に向けた公共交通の基本方針	1
2. 計画の目標（案）	2
3. 取組の方向性（案）	2
4. 施策展開イメージ（案）	3
(1) 施策展開イメージ（案）	3
(2) 施策展開イメージ図	3

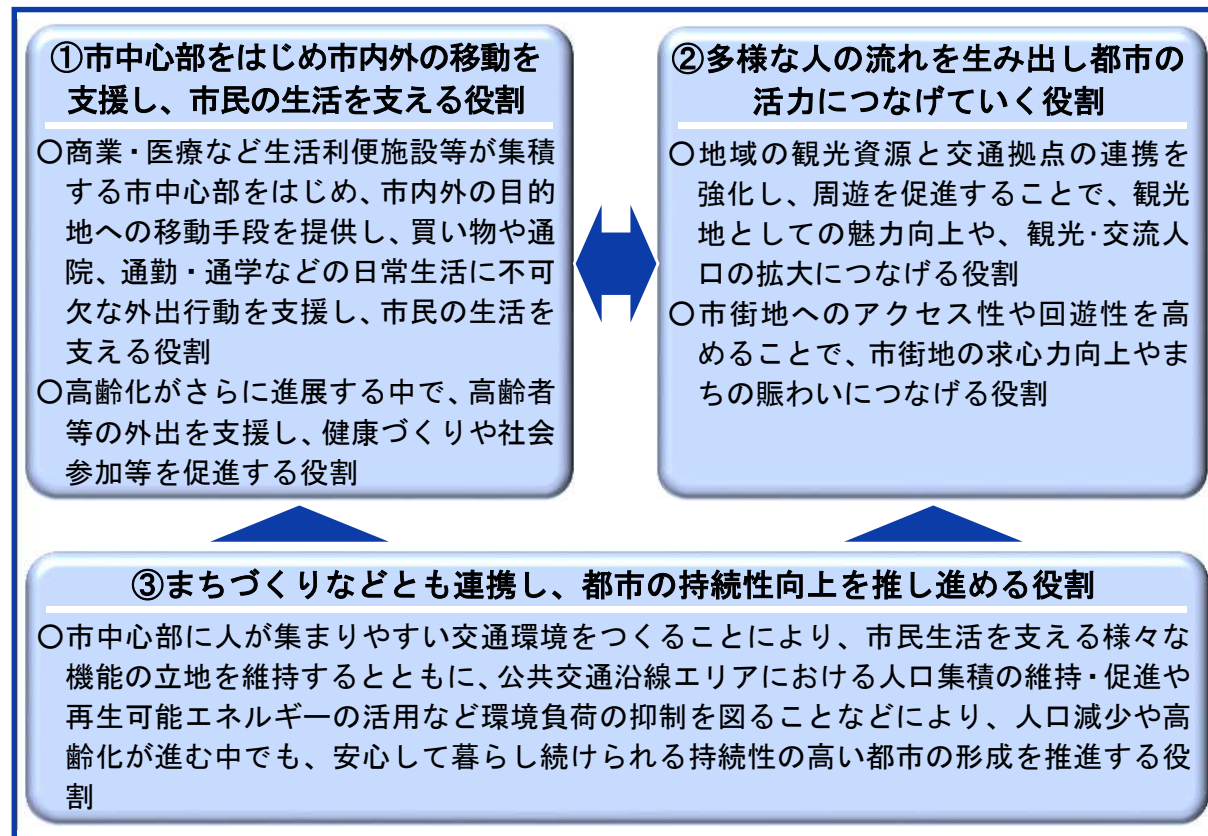
令和4年2月21日（月）

枕崎市地域公共交通活性化協議会 事務局

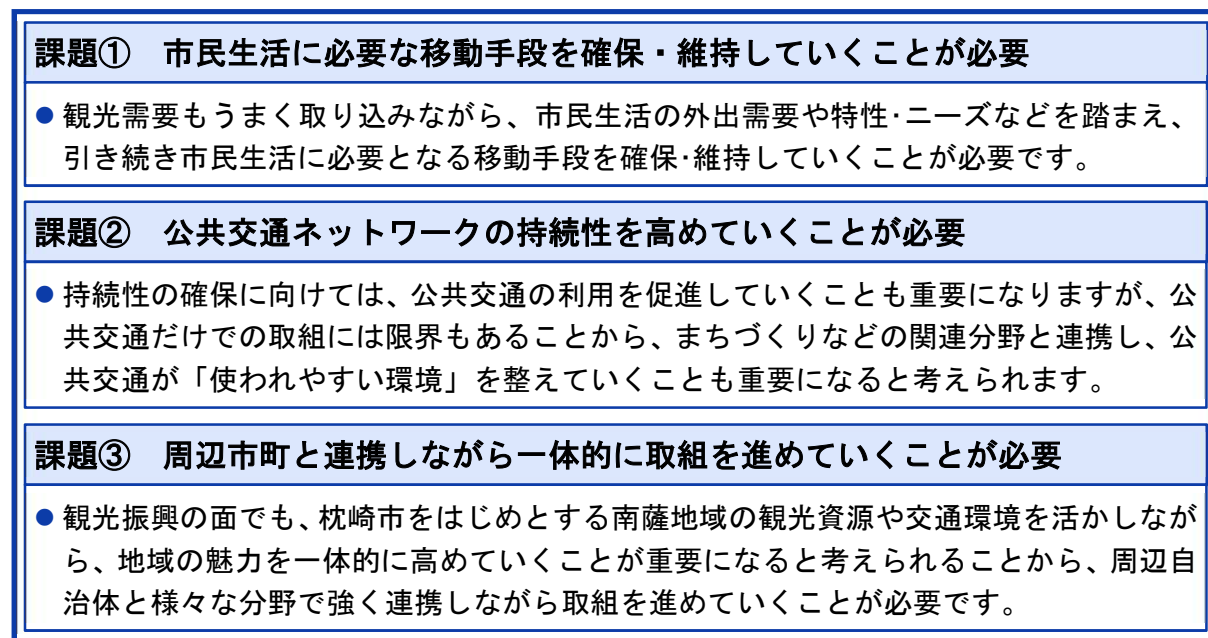
（枕崎市企画調整課）

1. 課題解決に向けた公共交通の基本方針

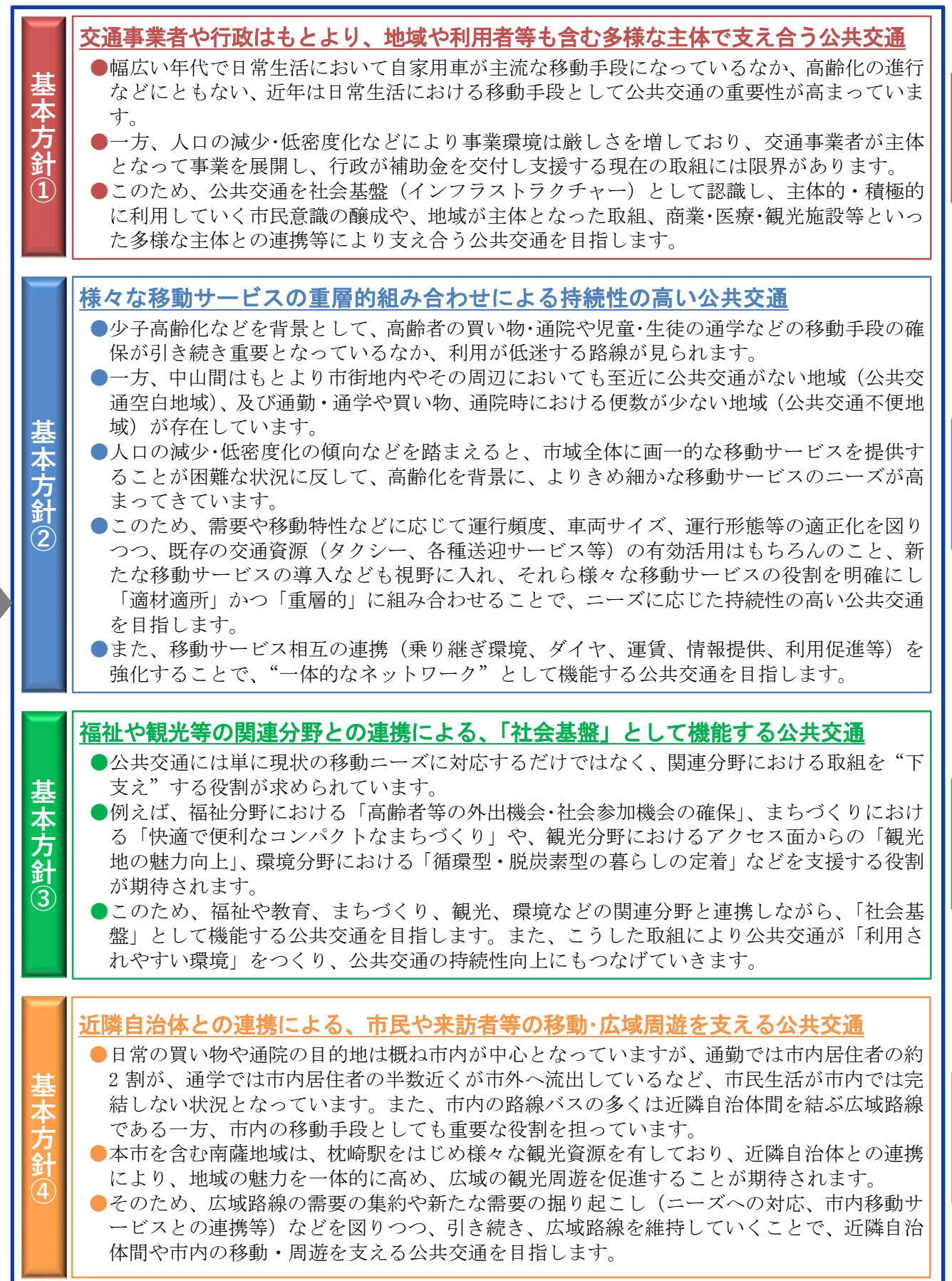
(1) 公共交通に求められる役割 (概要)



(2) 地域公共交通の課題



(3) 課題解決に向けた公共交通の基本方針



2. 計画の目標（案）

目標①	<p>多様な主体が参画することで公共交通を支える仕組みをつくります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通事業者・行政・公共交通利用者に加えて、地域住民や公共交通利用の目的地となる各種施設等（商業・医療・観光地など）なども広く巻き込むことで、多様な主体が様々な形で公共交通の運営を支える仕組みをつくります。 <p>達成状況 評価指標</p> <p style="text-align: center;">※検討中</p>
目標②	<p>コストバランスの最適化を図りながら移動サービスの「網羅性」を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 交通結節機能の向上により連携を強化しつつ、新たな移動サービスも含めた各種移動サービスの重層化・発展的解消や、需要に応じた運行形態の変更等を図ることで、移動サービスの提供エリアを拡大し、コストバランスの最適化と「網羅性」を高めます。 <p>達成状況 評価指標</p> <p style="text-align: center;">※検討中</p>
目標③	<p>関連分野の取組と連携しながら、各分野の目標の達成を支援します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 福祉や教育・まちづくり・観光・環境などの取組と連携しながら、公共交通サービスの維持・充実や、利用の促進を図っていくことにより、それぞれの分野で目指す目標の実現を支援します。 <p style="text-align: center;">〔関連分野との連携のイメージ〕</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>【福祉分野】 高齢者の外出機会や社会参加機会の確保・拡大につながる移動サービスを提供することで、健康寿命を延伸 など</p> <p>【教育分野】 高校への通学手段となる広域路線を維持することで、将来的にも進学先の選択肢を確保（通学手段がないことで進学先が限定されることがないように） など</p> <p>【まちづくり】 居住地域内の移動利便性の維持・向上や、市街地のアクセス性・回遊性の確保により、快適で便利なコンパクトなまちづくりを推進 など</p> <p>【観光分野】 地域の主要観光地と公共交通の連携を強化し周遊を促進することで、観光誘客を促進 など</p> <p>【環境分野】 公共交通の利用促進や環境に配慮した車両導入などにより、交通分野全体の環境負荷を軽減 など</p> </div> <p>達成状況 評価指標</p> <p style="text-align: center;">※検討中</p>
目標④	<p>地域間の移動を支える広域路線の利用を促進し、「持続性」を高めます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● ネットワーク全体としての使いやすさ向上などにより、広域路線の利用を促進し、持続性を高めます。 ● JR 指宿枕崎線と路線バスの一体的な利用の促進などにより、広域的な移動利便性と持続性を高めます。 <p>達成状況 評価指標</p> <p style="text-align: center;">※検討中</p>

3. 取組の方向性（案）

〔取組の方向性（案）〕		〔目標との関連性〕			
		①	②	③	④
方向性①	<p>利用意識の醸成・利用喚起</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 公共交通の重要性・必要性に対する市民の共通認識の形成や、公共交通を積極的に利用する意識の醸成を図るとともに、利用喚起に向けた取組を推進することで、“乗って支える”利用者層の拡大を図ります。 	○			○
方向性②	<p>多様な主体の連携による移動サービスの確保・利用促進</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 関連分野や多様な主体と連携した取組を展開することで、移動サービスの確保や公共交通の利用促進を図り、社会全体で公共交通を支える環境づくりを推進します。 	○		○	
方向性③	<p>移動サービスの重層化と相互の連携強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 地域の交通資源を活用して、面的・時間的な移動サービスの重層化やサービス水準の適正化とあわせた網羅性の向上を推進するとともに、移動サービス相互の連携を強化することで一体的なネットワークとしての移動利便性と機能向上を図ります。 		○	○	○
方向性④	<p>公共交通に関する情報提供の充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ 公共交通や観光に関する分かりやすく・便利な情報提供を行うことを通じて、公共交通利用の敬遠につながる不安感や不便感を軽減・払拭するとともに、公共交通を利用した移動がイメージできる情報を示すことで、公共交通が使われやすい環境を整えます。 		○	○	○
方向性⑤	<p>市街地内の移動・回遊の利便性向上</p> <ul style="list-style-type: none"> ★ コンパクトな市街地特性を活かしたまちづくりや観光・交流の促進に向けて、市街地内の移動や主要施設（行政・商業・交通・医療・観光等）間の回遊の利便性向上を図ります。 		○	○	

4. 施策展開イメージ（案）

（1）施策展開イメージ（案）

方向性 ①

①「社会基盤」としての公共交通に対する意識の醸成
 ・公共交通に関する継続的な情報発信を行うことなどを通じて、公共交通の「社会基盤」としての重要性・必要性に対する共通認識の形成を推進します。

②モビリティ・マネジメントの推進
 ・近隣自治体とも連携し、公共交通の乗り方教室や学校での公共交通学習をはじめとした「モビリティ・マネジメント」を展開することなどによる、公共交通を積極的に利用する意識の醸成を推進します。

③利用の“きっかけ”づくり
 ・「お試し乗車券」による運賃補助など、公共交通を利用する“きっかけ”となる取組による利用喚起を推進します。

方向性 ②

④イベント等との連携
 ・公共交通の運行ルートや運行ダイヤにあわせたイベント等の開催など、地域活動等との連携による利用促進を推進します。

⑤地域が主体となった運行の促進
 ・地域が主体となった「支え合い（共助）」による移動手段確保の取組に対する支援制度の導入を検討します。

⑥多様な主体が移動サービスを支える仕組みの導入
 ・公共交通利用の目的地となる各種施設が、施設利用者に対して公共交通運賃割引サービス等を実施するなど、多様な主体が公共交通を支える仕組みの構築を検討します。

⑦観光周遊促進策の展開
 ・周辺自治体とも連携し、広域的な観光キャンペーンの展開や、路線バス等の移動サービスと目的地となる施設のサービス等を組み合わせた企画乗車券・周遊型観光メニューの開発を推進します。

⑧ドライバー確保のための支援
 ・“担い手”不足が深刻化しつつある路線バスやその他移動サービスのドライバー確保のための支援を検討します。

方向性 ③

⑨路線バス枕崎～金山線の運行形態の見直し（図）
 ・路線バス枕崎・金山線については、周辺の公共交通空白地域等への対応も念頭に、需要に応じて運行する交通サービス（予約型乗合タクシー等）への転換を検討します。

⑩スクールバスを活用した移動手段の確保（図）
 ・桜山小学校のスクールバスを活用し、市民のスクールバスへの混乗化やバスの空き時間を活用した新たな運行ルートの追加などによる移動手段の確保を推進します。

⑪鉄道と路線バスの一体的利用の促進（図）
 ・JR 指宿枕崎線及び路線バス（東大川～枕崎線）の一体的利用を促進するための共通乗車券・共通定期券の導入を検討します。

⑫公共交通空白地域・不便地域における新たな移動サービスの提供（図）
 ・人口が広く・薄く分布する地域や、一定の人口集積がみられる市街地およびその外縁に存在する公共交通空白地域・不便地域において、市民生活を支える新たな移動サービス（予約型乗合タクシー、乗用タクシーの運賃低廉化等）の導入を推進します。

⑬乗り継ぎ環境の整備（図）
 ・主要なバス停において、利用者や街並み景観に配慮した待合設備の設置を推進します。また、新たな移動サービス（予約型乗合タクシー等）と路線バスの結節点における乗り継ぎ環境の整備、乗り継ぎダイヤの設定を検討します。

⑭次世代自動車の導入
 ・環境負荷低減への貢献や災害時の非常電源（避難所の電源等）としての活用が期待できる次世代自動車（EV タクシー等）の導入を推進します。

⑮新たな枠組みによる柔軟な移動手段の確保
 ・地域での“支え合い（互助）”による移動サービスや、乗用タクシーを活用した「定額制の移動サービス」など、新たな枠組みによる柔軟な移動手段の確保を検討します。

方向性 ④

⑯観光・公共交通情報の提供
 ・路線図や総合時刻表等を作成するとともに、アナログ・デジタルを活用した観光や公共交通に関する情報の発信を推進します。

⑰デジタルサイネージの導入（図）
 ・枕崎駅や観光案内所などにおいて、観光情報や路線図・時刻表・乗継情報などの情報を提供するデジタルサイネージの導入を推進します。

⑱リアルタイムな情報提供の実施
 ・公共交通の運行状況（車両走行位置・遅延状況・乗り換え検索等）がリアルタイムで分かる仕組みの導入を検討します。

方向性 ⑤

⑲市街地内を循環する新たな移動サービスの導入（図）
 ・市街地内を循環する新たな移動サービスとして、コンパクトな市街地特性に合致し、環境負荷低減への貢献も期待できるグリーンスローモビリティの導入を検討します。

⑳市街地内における均一運賃区間の設定（図）
 ・市街地内を循環する新たな移動サービスの導入を念頭に、市街地内における均一運賃区間の設定を検討します。

（2）施策展開イメージ図 ※図中の取組以外は市全体・広域で展開

